

The French Social Model

The case of the Safety Net for Healthcare

フランスの社会福祉・連帯のモデル：
ヘルスケアのためのセーフティーネットの事例
今回のセミナーでは、フランスにおける社会保障政策の規範的基礎について報告が行なわれます。フランスでは、2000年の法律で、「普遍的な医療の提供」のための国による統一スキームを制定し、地方政府ごとに運営されていた旧来の体制を現代化しました。報告では、なぜ・どのようにして立法がなされたか、スキームの機能はどのようなものか、そしてその結果---社会的援助から完全な法的権利への転換---を分析します。講演内容は、フランスとヨーロッパにおける社会政策上のより大きな課題---大規模な移民の動き---についての議論にも関わってきます。



The seminar will present the normative underpinning of social security policies in France, weakened by unemployment and growing poverty. To achieve universal access to healthcare, a 2000 law modernized traditional medical assistance operated by local authorities, and instituted a unified national “Universal Medical Coverage”. The presentation will analyze why and how the legislation was made, the functioning of the scheme, and its result: a transformation of social assistance into legal rights. The case invites to discuss larger social challenges in France and in Europe, accentuated by massive migration movements.



講演者： Prof. STEFFEN, Monika
(モニカ・ステファン先生)

所属：フランス国立科学研究センター
グルノーブル大学（フランス）

専門：社会政策（特に医療・健康政策）

紹介：ステファン先生はドイツに生まれ、フランスで教育を受めました。福祉政策の国際比較研究、ならびに、学術的知識を用いた社会貢献に従事されています。代表的なお仕事として、大学病院の協力を得て、グルノーブル政治学院に医療・健康政策のための学際的な修士課程を設立されたことが挙げられます。

日時：2016年4月25日（月）

18:15-19:30 講演 19:40-20:40 懇親会

場所：人環棟333演習室

※ ご講演は英語で行われます。